

令和	年度	「改訂版 私たちの公共」 (35・清水・公共902)			シラバス案
教科	公民科	単位数	2単位	学科	学年/学級

●学習の目標と評価規準

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる ・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や合意形成や社会参画を入れながら構想したことを議論する力を養う ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う
使用教科書/教材	高等学校公民科 「改訂版 私たちの公共」 (35・清水・公共902)

科目の評価の観点

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

●学習の計画と評価の方法

月	配当時間	部	学習内容 (目次)	学習のねらい (目標)	評価の方法
4月	13時間	第1部 公共の扉	第1章 社会で生きるということ (4時間)		
			1 私たちと青年期 公共ステップアップ① 欲求と葛藤 2 私たちと社会 3 人間の社会と文化 ズームアップ① 世界の宗教	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の課題や人間が社会的存在であることの意義を理解する。自分自身が公共的な空間を作り出す一員である自覚を深めるとともに、他者と協働して社会を作り出すことの意義について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界の宗教、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れることを通じて、自らの価値観を形成するとともに、他者の価値観を尊重することができる存在であることについて理解する。 	【態度】【思判表】 【技】ワークシート、プレゼンテーション 【知】小テスト
5月	13時間	第1部 公共の扉	第2章 みんなが幸せな社会とは? (5時間)		
			1 よく生きるとは? 徳 ズームアップ② 世界の思想 ズームアップ③ 日本の思想 2 幸せな社会とは? 功利主義 3 幸せな社会とは? 正義の原理 公共ステップアップ② 生命と科学技術の問題と倫理 公共ステップアップ③ 環境問題と人間の活動 ヴィジュアル資料室 地球環境問題	<ul style="list-style-type: none"> ・世界や日本の思想、先人の考察や構想について基本的な知識を習得し、それらが社会のあり方に影響していることを理解している。 ・行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 ・幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを通して、人間としての在り方生き方について考えることがよりよく生きる上で重要であることを理解する。 ・生命倫理や環境倫理の問題を事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、幸福を重視する考え方や公正などの義務を重視する考え方を踏まえ、人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。 	

		第3章 社会生活と法・ルール（4時間）	
		1 社会と法 2 法はなぜ必要なのか 公共ステップアップ④ 社会のルールをどうつくる？ オピニオン① アファーマティブ・アクション 不利な立場を考慮する措置は必要？ それとも「逆差別」？	<ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。 人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解する。 「公共ステップアップ4」「オピニオン①」を事例に，諸資料を読み取り，情報や主張を活用して，公共的な空間における基本的原理を踏まえ，個人と社会との関係を多面的，多角的に考察，構想できるようにする。
6月	6時間	第1章 私たちの社会と憲法（6時間）	
7月		1 個人の尊重と社会 2 民主主義と立憲主義 3 日本国憲法の成立と基本原理 ヴィジュアル資料室 「あたらしい憲法のはなし」とみる 日本国憲法 4 自由権 5 平等権 6 社会権 7 参政権・請求権 公共の福祉 公共ステップアップ⑤ 政治に参加する方法 8 新しい人権	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事例を通して，法や規範の意義及び役割について理解する。 日本国憲法と大日本帝国憲法との比較から相違点を考える。また日本国憲法の三大原則を理解する。 「消費者の権利と義務」について，具体的事例を通して，多様な契約の存在や，契約の意義やリスクについて多面的・多角的に考察，表現できるようにする。 具体的な事例を通して，日本国憲法の基本的な権利のうち，平等権と自由権について理解する。 具体的な事例を通して，日本国憲法の基本的な権利のうち，自由権と社会権の違いについて理解する。 日本国憲法の基本的な権利のうち，「新しい人権」について理解する。 「模擬請願」を事例に，現在住んでいる自治体が抱える課題について適切に情報を収集し，読み取って，課題の解決の在り方について考察，構想する。
		第2章 私たちの生活と政治（12時間）	
9月	11時間	1 日本の統治機構 ズームアップ④ 世界の統治機構 2 国会のしくみとはたらき 3 内閣と国の行政機関 4 司法権と裁判のしくみ 5 紛争解決のしくみ 公共ステップアップ⑥ あなたも法廷に？ 裁判員制度 6 地方自治の役割と現状 7 選挙のしくみ 8 政党と政治参加 ズームアップ⑤ 世界の選挙事情 ズームアップ⑥ 世界の政治参加 9 民主政治の原理と世論 公共ステップアップ⑦ 情報発信のしかたに注意！	<ul style="list-style-type: none"> 日本の統治機構と世界の統治機構と比較し，私たちの権利や自由を守るためにどのように組織されているのか理解する。 国会のしくみと働きについて理解する。 内閣のしくみと働きについて理解する。 日本の行政機関の特徴と行政権の拡大の問題点について理解する。 裁判所のしくみと働きについて理解する。また，司法権の独立の意義について考える。 刑事裁判と民事裁判の違いについて理解する。また，紛争解決の様々なしくみについて理解する。 「模擬裁判」を事例に，裁判や法律家が果たす役割，適正な手続き，証拠や論拠に基づき公平・公正に判断することについて多面的・多角的に考察，表現できるようにする。 地方自治のしくみと意義や選挙のしくみと課題について理解する。 民主政治において世論が果たす役割と課題について理解する。 情報発信について，資料を読み取って，情報モラルと情報リテラシーを高めることの重要性を理解する。インターネットも公共の場であることを理解する。
			【態度】【思判表】 【技】ワークシート， 討論 【知】【思判表】定期 テスト
			【態度】【思判表】 【技】ワークシート， 課題レポート【知】 小テスト

10月	4時間	第2部 よりよい社会の形成と参画	第3章 平和主義と日本（4時間）		
			1 日本の平和主義と憲法 2 日本の安全保障政策 3 日本の外交と平和な社会の構築 オピニオン② 日本国憲法改正は必要？ 必要ではないか？	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事例を通して、我が国の安全保障に自衛隊の果たしてきた役割を理解するとともに、日本の安全保障の在り方について考察、構想する。 日本の戦後における外交のあゆみを通して、平和な社会を作るために日本の外交が果たしてきた役割とその課題について理解する。 「領土問題」を事例に、現在日本が抱えている「領土問題」の経緯に関する情報を収集し、読み取って、「領土問題」の解決の在り方について考察、構想する。 「憲法改正」を事例に、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用して、憲法改正の在り方について考察、構想する。 	【態度】【思判表】 【技】ワークシート、討論 【知】小テスト
11月	12時間	第2部 よりよい社会の形成と参画	第4章 私たちの生活と経済（12時間）		
			1 私たちの生活と経済活動 ズームアップ⑦ 経済思想と経済体制 2 市場経済のしくみ ズームアップ⑧ 需要曲線・供給曲線のシフト ズームアップ⑨ 非価格競争 3 市場の限界と対応 4 企業の経済的役割 5 金融機関の役割 公共ステップアップ⑩ くらしの中の金融と社会 6 国民経済と景気変動 7 政府の経済的な役割 8 税と日本の財政の課題	<ul style="list-style-type: none"> 市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念について理解する。 「市場経済の機能と限界」を事例にして、市場の失敗の事例とその対応方法について考察し、表現する。 企業の役割とはたらきについて理解する。 新自由主義の台頭に至るまでの経済思想の変遷を理解し、グローバル化経済について、現代の事例に当てはめるなどして、考察、表現することができる。 「金融の働き」を事例に、金融のしくみと役割や、新たな金融の形態について考察、表現する。 GDPやGNIなど国の経済をはかる「ものさし」について理解する。 財政と租税のしくみと機能について理解する。 	【態度】【思判表】 【技】ワークシート、課題レポート 【知】【思判表】定期テスト
12月	12時間	第2部 よりよい社会の形成と参画	Check Box① 日本経済の進展 ① Check Box② 日本経済の進展 ② 9 さまざまな産業とその変化 公共ステップアップ⑨ 職業の選択 10 労働に関する制度と課題 公共ステップアップ⑩ 労働契約と労働法 公共ステップアップ⑪ 契約と消費者問題 11 社会保障制度の意義 公共ステップアップ⑫ くらしの中の社会保障 ズームアップ⑩ よりよい経済社会をめざして	<ul style="list-style-type: none"> 戦後から現代の経済の進展、それに際して生じた課題を理解し、経済発展に伴って産業構造が高度化することを理解している。 日本型雇用慣行および労働者をめぐる状況の変化について理解する。 「職業選択」を事例に、社会の急激な変化や、それに対応する社会的な起業の意義とともに、働くことの意義について考察、表現する。 「雇用と労働」を事例に、労働者の権利や労働契約を巡る法規制の形態について考察、表現する。 社会保障制度の歴史的経過を把握し、制度の内容と課題について理解する。 「財政・租税の役割/社会保障」を事例に、日本の社会保障や財政に係わる資料等を読み取って、循環可能な社会保障制度の在り方について、考察、構想する。 	【態度】【思判表】 【技】ワークシート、課題レポート 【知】小テスト

1月	8時間	第5章 国際政治・経済と日本（8時間）		
		1 国際社会と国際法 2 国際連合と国際機関 Check Box③ 国際社会の動向と日本 3 軍縮と平和への取り組み 公共ステップアップ⑬ 平和を構築するには Check Box④ 世界経済の動向 4 貿易・外国為替 5 発展途上国・地域経済統合 公共ステップアップ⑭ 経済のグローバル化と相互依存 6 持続可能な国際社会 公共ステップアップ⑮ 日本の国際貢献を考える オピニオン③ 国際的な人権共通の価値観を形成・合意できる？ できない？	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会における国家主権の意味と、国際関係を規律する国際法の意義及びその発達について理解する。 国際連合と国際機関の意義と役割について理解する。 第二次世界大戦後、世界の体制はどのような展開をしたのかを理解する。また、その歴史の中で、核拡散防止の現状と核軍縮に向けた取り組みについて理解する。 自由貿易と保護貿易の違いを理解するとともに、自由貿易が拡大した背景やその影響（「相互依存」等）について、為替レートや国際収支と関連付けながら理解する。 「経済のグローバル化と相互依存」を事例に、グローバル化の進展が及ぼす影響と社会の変化について、考察し、表現する。 先進国と発展途上国との経済格差の問題とリージョナリズムが引き起こす意義と課題について理解する。 公共ステップアップ15を事例に、SDGsの概念を理解するとともに、ODAに関する資料や日本の国際貢献の例などを読み取り、日本が国際社会で果たすべき役割について考察し、構想する。 オピニオン3 国際的な人権を事例に、諸資料を読み取り、論点を踏まえて、「人権」を巡る国際的な問題に対して、どのような取り組みが求められるのか、考察し、構想する。 	【態度】【思判表】 【技】ワークシート、討論 【知】小テスト
2月		私たちが創る持続可能な社会（10時間）		
3月	10時間	第3部 持続可能な社会を創る 1 いきいきとした地域を創るには 2 少子高齢社会の現在と将来 3 情報社会 個人情報の扱いは？ 4 持続可能な資源・エネルギー利用とは 5 地球温暖化に国際社会で取り組むには 課題探究のスキル	<ul style="list-style-type: none"> 「日本の地方・地域社会の課題」「高齢化・少子化の進行」を事例に、主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述する。 個人情報保護法について、諸資料を読み、防犯カメラとプライバシー問題で討議したことなどを事例に、主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述する。 資源やエネルギーを利用する上での課題と、地球温暖化に対する国際社会の取り組みを事例に、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述する。 	【態度】【思判表】 【技】ワークシート、小論文、ディベート